

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 3-3

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	車両管理業務委託			
評価者	担当課・係名	税財管理課・管財係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	久保田和孝	氏名
			田中邦俊	係長
事業の概要	効果的な財政削減及び車輛の運行・輸送業務の円滑化を図るために、スクールバス4台・給食配送車2台・福祉バス1台・生涯バス1台の一括民間委託を行っている。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		<input type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標	5	うるおい・雄武～協働によるまちづくりの推進～	
	基本政策	24	効果的・効率的な行政経営	
	単位施策	3	地方分権型行政の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	25,671千円	25,931千円	25,928千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	25,671千円	25,931千円	25,928千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(生徒・一般町民)	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	10年以上の車輛3台があり、町の修繕経費負担増になる恐れがある。		スクールバス・給食配送車・福祉バス・生涯バスの一括民間委託								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	柔軟な運行・輸送業務の円滑化を図る。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用用途によって、車輛の適正化を図っていく		①スクールバス・給食配送車・福祉バス・生涯バスの8台を一括民間委託	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>8台</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>8台</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	8台	実績値	8台	達成度
目標年度	19年度										
目標値	8台										
実績値	8台										
達成度	100%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①業務委託	スクールバス4台・給食配送車2台・福祉バス1台・生涯バス1台の一括民間委託(長期継続契約 平成18年4月1日から平成21年3月31日までの3年契約)										
②業務委託変更契約	燃料高騰により価格改定分360千円を増額。										
③タイヤ購入	スクールバス冬用タイヤ6本、給食車冬用タイヤ12本、生涯学習バス冬用タイヤ6本を購入										

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	効果的な経費削減や柔軟な運行管理を行うのに引き続き民間委託を維持しなければならないため必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	スクールバス 4 台・給食配送車 2 台・福祉バス 1 台・生涯バス 1 台の一括民間委託により柔軟な運行管理・人件費等の適正化に有効であった。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>概ね効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	人件費等の経費削減が図られた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
効果的な経費削減を図るために、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>		
効果的な財政削減及び車輛の運行・輸送業務の円滑化を図るため、計画どおり事業を行うことが適当と判断する。 (平成 21 年 3 月 31 日まで長期継続契約)		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 3-4

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	ホテル日の出岬整備事業			
評価者	担当課・係名	税財管理課・管財係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	久保田和孝	氏名
		職名		係長
		氏名	田中邦俊	
事業の概要	運営・サービスの低下を招かないために、施設設備の充実を図るために、施設設備が腐食により故障の恐れがある浴室換気改修工事や排水ポンプ6台・お湯張りポンプ1台の購入及び温泉ポンプ整備をする。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	
	基本政策	5	観光の振興	
	単位施策	1	計画行政の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	4,463千円	4,998千円	11,300千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	4,463千円	4,998千円	11,300千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	ホテル日の出岬	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	塩分濃度が高いので、施設設備等の腐食が進み経費が嵩む。		運営・サービスの低下を招かないためにも温泉施設設備の現状維持を図る。								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	温泉施設設備の現状維持。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	運営・サービスの低下を招かないために、施設設備の充実を図ることができる。		①温泉施設設備の現状維持を保つ。	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
		②浴室換気改修工事、お湯張りポンプ購入、既存の温泉ポンプの整備を図る。	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①浴室換気改修工事	脱衣室の大規模な結露の改善と浴室暖房機の劣化を防止する為に、浴室換気改修工事を行った。										
②温泉汲上ポンプオーバーホール	不測の事態に備えるために、既存ポンプのオーバーホールを行った。										
③お湯張りポンプ及び排水ポンプ取替工事	お湯張りポンプが老朽化により、お湯を張るのに長時間要するので営業に支障をきたす。また、排水ポンプ6基が腐食し、汚水が排水槽から漏れるおそれがあるため、取替工事を行った。										

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	施設を維持するためにも、腐食した設備の改修工事や温泉ポンプ整備をしなければ営業ができなくなる恐れがある。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	既存の温泉施設の温泉ポンプ取替工事等により、施設維持をすることができた。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>概ね効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	温泉施設維持のために計画的に改修・取替工事を行うものなので、コスト削減は難しい。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
滞在型観光開発施設の運営・サービスの現状維持を保つためにも、計画どおり事業を進めることが妥当と判断する。		



<b>継続／現状維持</b>		
温泉施設を運営するのに設備の現状維持を保たなければいけないことから、計画どおり事業を行うことが必要なため、現状維持が妥当である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 3-5

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	公用車購入事業			
評価者	担当課・係名	税財管理課・管財係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	久保田和孝	氏名
		職名		係長
		氏名	田中邦俊	
事業の概要	職員の出張旅費の削減、また、環境にやさしく燃費が良いハイブリットカー1台を購入。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	5	うるおい・雄武～協働によるまちづくりの推進～	
	基本政策	24	効果的・効率的な行政経営	
	単位施策	3	地方分権型行政の推進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	2,540千円	1,770千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	2,540千円	1,770千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	職員用公用車	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	公用車の用途の徹底を図る。		車両等の経費削減を図るためにハイブリットカー1台購入		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	10年以上の公用車を対象に計画的に更新する。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	出張経費・公用車の燃料経費の削減。		①ハイブリットカー1台	目標年度	19年度
			目標値	1台	
			実績値	1台	
			達成度	100%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①公用車購入	公用車両としてハイブリットカー1台を購入する。				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	出張用公用車として経費削減のため、燃費がよくまた環境にやさしい車のハイブリットカーを購入する必要がある。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有功</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	ハイブリットカー購入により燃料費の適正化に有効であった。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>概ね効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	用途に合わせた車種 (ハイブリットカー) を購入したことにより燃料費のコストを下げ効果を得ている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
特に、出張用として、環境にやさしく、燃費が良いハイブリットカーを購入したことにより燃料費の削減を図ることができた。		



<b>継続／現状維持</b>		
10年以上経過した公用車は、用途に合わせ燃費の良い車種に更新する必要があるため、当分は現状維持が必要である。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 3-6

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	カラー印刷機購入			
評価者	担当課・係名	税財管理課・管財係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	久保田和孝	氏名
				係長
				田中邦俊
事業の概要	カラーコピー機の後継機としてコスト削減を図るためにカラー印刷機1台を購入。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業 <input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業		
	政策目標	5	うるおい・雄武～協働によるまちづくりの推進～	
	基本政策	24	効果的・効率的な行政経営	
	単 位 施 策	4	財政の安定化	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	2,678千円	千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	2,678千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	カラー印刷機	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	カラー印刷機の利用促進を図る。		白黒コピーもカラー印刷機を利用する。		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	経費節減のために、白黒コピーも複写機を利用しないで、カラー印刷機で行う。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	白黒コピーをカラー印刷機で利用することにより複写機の経費が削減される。		①カラー印刷機1台	目標年度	19年度
			目標値	1台	
			実績値	1台	
			達成度	100%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①カラー印刷機購入	カラー印刷機及び複写機の2台をカラー印刷機1台にした。				
②					
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	1枚単価の経費削減を図るために必要であった。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>概ね有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	カラーコピーの1枚単価が下がったことにより、経費の負担減となったことから、概ね効果が得られた。
有効／概ね有効／課題あり		

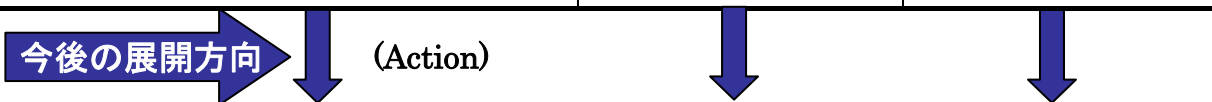
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>概ね効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	カラーコピーについては一枚単価のコストを削減したが、白黒コピーについては、利用頻度が少なかったので、全体的にみれば、概ね効率的であった。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

〔 A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要 〕

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
カラーコピーの単価コストが下がり、経費の面では良かったが、今後は白黒コピーの頻度を高めたい。		



<b>終了</b>		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項



平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 3-7

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	役場庁舎改修事業			
評価者	担当課・係名	税財管理課・管財係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	久保田和孝	氏名
				職名
				係長
				氏名
事業の概要	後期高齢者医療制度導入の施行に伴う住民情報システム及び戸籍電算システムの導入により、休日勤務室を改修し電算サーバー室を設置。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業 <input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業		
	政策目標	5	うるおい・雄武～協働によるまちづくりの推進～	
	基本政策	24	効果的・効率的な行政経営	
	単 位 施 策	3	地方分権型行政の推進	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総 事 業 費	千円	5,397千円	千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	5,397千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	庁舎改修	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	行政の推進を図る		サーバー室		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	セキュリティに配慮したサーバー室		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	公共ネットワークのサーバーや後期高齢者用サーバーを置き一元化管理する。		①	目標年度	年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①休日勤務室の改修	セキュリティに配慮したサーバー室として改修した。				
②当直室の改修	サーバー室改修に伴い警備室として改修した。				
③					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	電算サーバー等の設置に伴い、サーバー室が必要であった。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	既存サーバーと後期高齢者用サーバーの一元化管理をすることにより、セキュリティーの適正化に有効であった。
有効／概ね有効／課題あり		

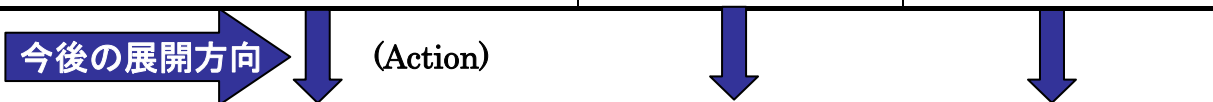
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	休日勤務室に設置しているLGWAN・公共ネットワークのサーバーと後期高齢者用サーバーの一元化管理により既存設備の移設経費が発生せず、電算サーバー室の改修工事のコストを下げる事ができた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

〔 A: 計画どおり事業を進めることが適当      B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要      D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要 〕

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
公共ネットワークサーバー・後期高齢者用サーバー等の一元化を図り、また、セキュリティーに万全を期したサーバー室である。		



<b>終了</b>		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項